

# 目指せ「満男2世」 順調な滑り出し



小笠原 満男 (鹿島)

## 一流身近、練習に励み

サッカー元日本代表の小笠原満男(鹿島、**ていりう**)。あこがれの選手を目標に掲げた練習大船渡高出が総合アドバイザーを務める「レ」は、個々の意識に徐々に浸透。盛岡市を拠点ノウェンス オガサFC(中村司代表)の「満男2世」の育成を掲げた地域クラブチームの挑戦が本格的に動き始めた。

未来の日本代表を夢見て、練習に汗を流すレノウェンス オガサFCの子どもたち—盛岡市・東宮運動公園

午後6時すぎの県営運動公園サッカー場。中学生計150人が所の松葉開(岩手大1年、夕日を浴び小中学生が、進級で退団して盛岡高高出)は「中村生き生きとした表情でまっすぽとは違い、代表に声を掛けられボールを追う。週5回、小中学生に同じコーチになった。指導す2時間の練習。大好き陣が一貫指導する。一ここで自分の勉強になサッカーに夢中だ。流選手の輩出を目指すもなる」と実感。クラブには幼児からレイソルSS盛岡OB

午後6時すぎの県営運動公園サッカー場。中学生計150人が所の松葉開(岩手大1年、夕日を浴び小中学生が、進級で退団して盛岡高高出)は「中村生き生きとした表情でまっすぽとは違い、代表に声を掛けられボールを追う。週5回、小中学生に同じコーチになった。指導す2時間の練習。大好き陣が一貫指導する。一ここで自分の勉強になサッカーに夢中だ。流選手の輩出を目指すもなる」と実感。クラブには幼児からレイソルSS盛岡OB

午後6時すぎの県営運動公園サッカー場。中学生計150人が所の松葉開(岩手大1年、夕日を浴び小中学生が、進級で退団して盛岡高高出)は「中村生き生きとした表情でまっすぽとは違い、代表に声を掛けられボールを追う。週5回、小中学生に同じコーチになった。指導す2時間の練習。大好き陣が一貫指導する。一ここで自分の勉強になサッカーに夢中だ。流選手の輩出を目指すもなる」と実感。クラブには幼児からレイソルSS盛岡OB

水曜スポーツ